

メットライフ生命保険 × 十八親和銀行

民間主導のプロジェクト「えがおみらいプロジェクト」を発足



地域のエンターテインメントやスポーツ振興を軸に
子どもの笑顔を育む仕組みをつくり、県内全域に支援を拡げます

都市部だけでなく離島や半島地区の子どもたちへ、思いっきり遊べる環境や機会をつくるイベント「お出かけするよ こどもでじまはく」の協賛や、県内のスポーツ振興を通して、子どもたちの笑顔を育んできたメットライフ生命保険。

今回新たに、県下に広く拠点を有し地域に密着した取り組みを展開している十八親和銀行と民間主導のプロジェクト「えがおみらいプロジェクト」を発足します。

行政や地域の企業、NPOと連携して個別の支援だけでなく、子どもの笑顔をつくる取り組みを年間を通して行います。



「えがおみらいプロジェクト」概要

年間を通して子どもの笑顔を育む事業の企画・運営

①子どもの笑顔をつくる

離島や半島地域にも子どもたちが
思いっきり楽しむことができる機会を展開します



例) 離島や半島地区などでの出張型イベント
「お出かけするよこどもでじまはく」の企画・運営



②子どもの未来をつくる

地域で働く意義や価値を発見・再発見できる
ワークショップを通して、子どもたちが将来に希望を持ち、
地域に暮らし続ける意欲を高められるようはかります



③子どもの今をつくる

子ども食堂支援や、地域スポーツ振興を通して
子どもの活躍できる機会や地域のつながりをつくります

ゴールデンウィーク期間中開催のイベント

「DEJIMA博」で能登半島支援
長崎県を通じて石川県へ義援金贈呈

DEJIMA博（特別協賛：メットライフ生命保険）は、令和6年能登半島地震の支援としてイベント公式ホームページや会場で寄付を募るとともに、能登半島で被災をしたジェラート店「マルガージェラート」を会場に招致しました。マルガージェラートは、2017年にアジア人として初めてジェラート世界一に輝いた柴野大造さんが、地元能登で開いたジェラート店です。

自然豊かな能登半島で育まれた生乳を100%使ったジェラートを会場で提供することで、来場者に広く能登半島の魅力を発信するとともに、復興支援に向けた機運を醸成しました。

また、ジミー大西さんがDEJIMA博10周年を記念し作成したロゴを配したオリジナルTシャツを会場内で販売。販売額のすべては、長崎県を通じて石川県への寄付します。



1. 食べて応援
マルガージェラート



2. 募金して応援
DEJIMA博会場に
募金ブースを設置

3. 買って応援
DEJIMA博会場で
チャリティーTシャツを販売します。

